

## 令和４年度 都城市立縄瀬小学校 第【４】回学校運営協議会報告書

日 時	令和４年１２月２１日（水） １０時１０分～１３時００分	
場 所	都城市立縄瀬小学校 校長室 各教室	
参 加 者	委 員	迫間 輝昭 池之上 俊江 犬童 健人
	事務局	蓑毛 隆洋（校長） 竹下 龍祐（教頭）
	その他	
会 次 第	１ あいさつ（校長） ２ 授業参観 ３ 協議 ○ ２学期後半の取組について ○ 今後の２学期の行事について ○ 学校評価アンケート結果について ４ 給食試食 ５ まとめ	
協議内容	○ 授業参観では、１～３年体育科、４年国語科、５年理科、６年算数科を参観いただいた。前回、タブレット型ＰＣを活用した授業の参観をしていただいた折に、思考力は付いているのか、という問いをいただいた。今回は、５年理科「水溶液」で、タブレット型ＰＣを活用し、実験で得たデータをもとにグループで考察するという学習活動を参観された。児童がタブレット型ＰＣを通して、グループで意見交換をしている姿から、思考力を育成していることを理解していただいた。また、４年国語科で、国語辞典や漢字辞典を活用したり、６年算数科で、学んだことを生かして問題を解く活動をしたりする姿からも、思考力の育成をしていることを理解していただいた。 ○ ２学期の取組では、１人の委員の方から、参観日に学校運営協議会を設定し、委員とＰＴＡ役員との協議の場を設けたらどうだろうかという御意見をいただいた。次回は２月。ＰＴＡ専門部等の役員選出が行われるが、何とか日程を工夫して実施したい。 ○ 学校評価アンケート結果についての協議では、まず、ボランティア活動について、家での手伝いや地域での活動等の体験をさせることで、ボランティアへの意識を高められるのではないだろうかという意見が出された。今後、協議を重ね、保護者や地域に広げていきたい。次に、読書への意識では、学校では、全児童の読書目標冊数３，０００冊に近づいていることより、家庭での読書の習慣に話題が向いた。保育園では、園児が平仮名を覚えると、園児１人で読むようにしている保護者がいるようである。読書意欲の継続のためには、やはり家族で読書に浸る習慣が大切であると確認した。 ○ 縄瀬保育園では、毎日の昼食の御飯を、園児が竈で作っているそうである。このような活動の中で、命の大切さや火の怖さ、道徳心、安全についての意識等いわゆる「生きる力」を育てているのだそうだ。本校でも本校の教育目標達成のために様々な手立てを講じているが、何か一つでも継続して、徹底指導できるものがあるとよいと感じた。	
そ の 他	○ 学校評価についての今後の計画 ①冬季休業～１月中旬にかけて、本校教員が、学校評価アンケート結果及び教育課程評価結果から成果と課題を明らかにする。 ②１月中旬～２月上旬にかけて、①を受けて、学校運営協議会委員が評価する。 ③２月２４日（金）の学校運営協議会で評価の確認をする。	